

小さな 3月号

しんせつ

「小さな親切」運動生駒支部情報・第58巻第671号

令和8年3月1日  
 「小さな親切」運動  
 生駒支部  
 生駒市北新町11番3号  
 南都銀行生駒支店内  
 ☎0742-81-3975  
 ☎630-0245  
 定価 100円

この人のことば

挨拶が繋ぐ力

生駒市立生駒北小中学校長 小竹 仙哉

毎日普通に交わしている挨拶も十分でなかったコロナ禍が過ぎ、学校内外で元気な挨拶が聞かれるようになりました。挨拶がきっかけとなり、人とつながりが生まれます。

私は、子どもたちの心に郷土愛を育みたいという願いを持っています。そこで地域の方々に、登校時には「行ってらっしゃい」下校時には「おかえり」という挨拶を付け加えていただくようお願いしました。今では登校時に、見守りボランティアさんの「おはようございます。行ってらっしゃい。」と手を振りながらの挨拶に、「おはようございます。行きます。」と手を振り返す子どもの姿が見られます。夕方前に地域の方の「おかえりなさい」に、子どもが「ただいま」と返してくれたと聞くようになってきました。挨拶によって地域の方々に『地域の子ども』という意識が生まれ、子どもたちが『いつも地域の人たちが見守られている』と安心できる関係で繋がることを願いながら、私も挨拶をしています。

「小さな親切」10か条の⑨ 生駒をきれいにしましょう。

この人の作品



ちりめん細工 「吊り雛傘福」  
 井川とも (東京)

## 令和7年度 当情報紙 “しんせつ”へのご執筆 ありがとうございました

(敬称略)

### 4・5月合併号

- ・この人のことば  
ハラスメントは人権侵害です  
福中眞美
- ・この人の作品  
水彩画「東大寺二月堂」  
牛田斐子
- ・入会のお誘い  
あなたもどうぞごいっしょに！  
「小さな親切」運動で手をつな  
ぎましょう
- ・令和6年度「小さな親切」運動  
奈良県本部実行委員会報告  
宮本しげ子
- ・南地区集会の報告 樋口清士
- ・観桜クリーンハイクに参加して  
玉置成一

- ・雛の日近き、バンビカフェにて  
村上和子
- ・第58回会員定期総会のご案内

### 6月号

- ・この人のことば  
警察官との約束 山本英二
- ・この人の作品  
水彩画「ラディッシュ」神箸圭子
- ・第58回(令和7年度)会員定期  
総会終わる 作島美与子
- ・お祝いのお言葉  
公益社団法人「小さな親切」  
運動本部代表 鈴木恒夫
- ・お祝いのお言葉  
小さな親切運動奈良県本部  
代表 橋本隆史
- ・令和6年度事業報告並びに令和  
7年度事業計画
- ・令和6年度一般会計及び特別会  
計決算報告書
- ・令和7年度一般会計及び特別会  
計予算書

### 7・8月合併号

- ・この人のことば  
地域の発展、安全輸送を目指す  
生駒駅 柳谷裕一
- ・この人の作品  
パッチワーク「トートバッグ」  
伊勢弥生
- ・第57回(令和7年度)生駒青年  
「小さな親切」作文コンクー  
ル募集要項
- ・令和6年度「小さな親切」作文  
コンクール入賞者紹介  
小学校の部2位  
ぼくははん長  
生駒小学校4年 石田優太
- ・小学校の部2位  
心のヘルプマーク  
真弓小学校6年 前田侃諒
- ・生駒警察署を見学して  
玉置成一
- ・「小さな親切」実行章推薦のお  
知らせ
- ・夏の交流会ご案内



街と未来のために、いつまでも。

人と地球にやさしい本当の資源循環型社会の実現に向けて  
全力を尽くしてまいります



小さな親切 協力事業所

株式会社 生駒市衛生社

〒630-0142 奈良県生駒市北田原町1548-1

## 9・10月合併号

- ・この人のことば  
大屋根リングから 後藤裕子
- ・この人の作品  
写真「ハギ」 栗城市市
- ・ふるさと美化運動「2025クリーンアップならキャンペーン」のご案内
- ・第57回作文コンクール学校別応募数 審査委員名簿
- ・第57回作文コンクール発表会ご案内
- ・令和6年度作文コンクール入賞者作文中学校の部2位  
電車で出会った「小さな親切」  
上中学校1年 谷口真帆  
勇気を出して  
上中学校1年 休場 慎
- ・夏の交流会 和やかに終わる  
作畠美与子

## 11・12月合併号

- ・この人のことば  
感謝の挨拶運動 森田美穂
- ・この人の作品  
ちりめん細工「実りの秋」  
入間みよこ
- ・第57回作文審査を終えて  
宮本しげ子
- ・「小さな親切」応募作文を読んで  
森本正一

- ・第57回作文コンクール発表会を終えて 作畠美与子
- ・第57回作文コンクール入賞者名簿・つるが賞入賞者名簿
- ・第57回作文入賞者の作文  
小学校の部1位  
はじめての「どうぞ」  
鹿ノ台小学校5年 山崎 臣  
中学校の部1位  
あふれる笑顔  
上中学校1年 三木真実
- ・第50回「小さな親切」運動本部作文コンクール入選おめでとう  
小学校の部  
鹿ノ台小学校5年 山崎 臣  
中学校の部  
上中学校1年 三木真実
- ・第50回中央本部作文応募総数  
26,625編(小:6,494、中:20,131)

## 令和8年1・2月号

- ・この人のことば  
作文から広がる感謝と思いやり  
原井葉子
- ・この人の作品  
絵手紙「稔り」 平井咲子
- ・新年のご挨拶 代表 玉置成一
- ・あけましておめでとうございます  
役員・常任委員一同
- ・令和7年度作文コンクール入賞者の作文

- 小学校の部2位  
私は出来なかった親切  
鹿ノ台小学校4年 上地乙寧
- 小さな親切で奏でるハーモニー  
俵口小学校4年 森 彩乃
- 中学校の部2位  
ぼくの周りの小さな親切  
生駒北中学校1年 南 大地
- おばあさんと私  
上中学校1年 池内愛梨
- ・大瀬中学校生徒会役員との意見交換会のお誘い

## 3月号

- ・この人のことば  
挨拶が繋ぐ力 小竹仙哉
- ・この人の作品  
ちりめん細工「吊り雛傘福」  
井川とも
- ・令和7年度当情報紙“しんせつ”へのご執筆ありがとうございます  
宮本しげ子
- ・情報「しんせつ」への広告ご賛助ありがとうございます  
宮本しげ子
- ・1月常任委員会開催 玉置成一
- ・2025クリーンアップならキャンペーンの報告 西田真也
- ・戻ってきた財布 玉置成一

## 情報「しんせつ」への 広告ご賛助 ありがとうございました

(敬称略)

### 4・5月合併号

一般社団法人 生駒市医師会  
奈良信用金庫 生駒支店  
社会福祉法人 宝山寺福祉事業団  
大和信用金庫 生駒支店

### 6月号

仲野水道設備株式会社  
株式会社新踏社  
あさひカメラ

### 7・8月合併号

セレミューズ株式会社  
生駒商工会議所  
生駒交通株式会社

### 9・10月合併号

株式会社ペイント工房  
竹茗堂左文

### 11・12月合併号

南都銀行  
株式会社丸一商事

### 令和7年1・2月号

山本瓦工業株式会社

### 3月号

株式会社 生駒市衛生社

## 1月常任委員会開催

1月29日(木)に谷田自治会館において、10名の参加のもとに今年初めての常任委員会を開催いたしました。森本正一副代表の司会で進行し、最初に玉置代表から挨拶がありました。昨年の11月の作文発表会では授与式に中学3年生の女子生徒が車椅子で出席してくれて感動したこと、敦賀支部からも代表や事務局にご臨席頂き大変盛り上げて頂いたこと、そして出席した児童生徒や保護者も大変喜んでくれたこと、このことから開催した意義があった。そして小学5年

生の1位児童と中学1年生の1位生徒が中央本部において入選したことは大変嬉しいことである。また人権教育講座「山びこ」に出席して心に残ったことなどから一人一人が親切を実行し継続して、さらに親切の輪がさらに広がっていくことを期待している。今後とも会員の皆様には活動に対する支援や協力をよろしく願います。

その後議事や報告に入りました。今年度の残事業や令和8年度の事業について提案があり、日時の決定や内容などについて話し合いを行いました。会議終了後は会員の皆様のお世話で、年の初めのお祝いとして美味しい善哉をいただきました。最後は近況報告や今後の課題などいろいろと話も弾み、交流を深めることができました。

○報告並びに協議事項について

1. 今年度の残事業について

南地区集会については昨年同様に3月3日に大瀬中学校で生徒会と会員の意見交換会を予定していま

すが、樋口常任委員が欠席のため、玉置代表が提案しました。そして2月に予定していた勉強会は、南地区集会と兼ねることになります。

2. 観桜クリーンハイクについては、その後の情報委員会で検討しましたが、参加者が少ないため今回は実施しないと決めました。

3. 次年度事業について（これは予定であり変更することがあります）

- ・第59回会員定期総会は5月16日(土)
- ・夏の交流会は8月30日(日)宝山寺和光殿
- ・クリーンアップならキャンペーンは10月25日(日)の予定だが南都銀行に確認する。
- ・作文発表会は11月7日(土)
- ・南地区集会は6月、北地区集会は2月、1月は新年会、2月は勉強会の予定です。  
(各事業の詳細につきましては後日お知らせいたします。)

—玉置成一 記—

## 2025 クリーン アップなら キャンペーン

10月26日(日)、奈良県下で「2025 クリーアップならキャンペーン月間」に合わせて「ふるさと美化運動」を開催しました。



今年は2年連続で開催日が変更となりましたが、生駒会場では約70名が参加し、生駒駅周辺を中心に5コースに分かれて清掃活動を行いました。

天候の崩れが心配されましたが、当日は雨も降らず、幅広い年代の



方々にご参加いただきました。さらに、生駒市内の自治会でもこの運動に賛同し、各所で清掃活動が実施されました。

ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。来年度以降も、生駒の美しい環境を守るため、引き続きご参加をお願いいたします。

(南都銀行生駒支店 西田真也 記)



## 戻ってきた財布

10月中旬に家族で孫が楽しみにしていた兵庫県にある「おもちゃ王国」という遊園地に行った。日曜日ということもあり、大変賑わっていて孫は遊具に乗ったり鉄道模型のある場所で遊んだりしたいへん喜び、私も連れてきた甲斐があったと満足していた。

午後3時頃になり、そろそろ帰る時間になったので、先に駐車場に行こうと歩いていくと自動販売機があり、お茶を買おうとしてポケットに手を入れた。すると財布がないことに気づいた。いつ失くしたのか分からないが、先ほどまではポケットに入っていたはずだった。家族にそのことを話すと総合案内所に連絡したらどうかと言われたので、だめでもともとと思い案内所に行こうとした。すると近くに駐車場係員の方がいたので、とりあえずそのことを話すと、親切に無線で総合案内所に電話をか

けてくれて「貴重品は届いているようですよ。直接行って確認してください。」と答えてくれた。普通は「私は駐車場の担当なので、落し物の件については関係ないので、直接案内所に行って事情を説明してください」と言われると思っていたので、まずこの人の親切な対応に心が温かくなった。

そして案内所に着くと、係りの人は丁寧に対応してくれて、「確認してから連絡するので住所と名前と電話番号を教えてください」とやさしく説明してくれた。その対応にも嬉しく感じた。そして手続きを終えて10mほど歩いていると電話が鳴り「財布は戻っていました。」と連絡があった。私は財布が戻ってくることは全然期待していなかったので、嬉しさと驚きで心がいっぱいになった。

諦めていた財布が戻ってきたことで感じたことは、警備員や案内所の方々、そして財布を届けてくれた人のやさしさや温かい心に感動し、今の時代も捨てたものでは

ないと思った。財布を拾って届けてくれた人は失くした人が困っていると思って親切をしたのでしょいうが、戻ってきた財布を受け取った私はこれほど大きな親切はないと思った。小さな親切と思って行ったことが、相手にとっては大きな感謝になる。日ごろから小さな親切を実行し、その積み重ねが明るい世の中を作り、お互いに支えあえる温かい街づくりになっていくのだとつくづく感じた。

—玉置成一 記—

## 会員紹介

(敬称略)

- ◎〈団体会員〉宝生会
- ◎東新町・中本幸子グループ
- 〈維持会員〉福田幸子、上田健、矢橋進、藤田幸子、松山俊子、亀山政雄、鎌中秀幸、安留フクエ、森下成子、岡本倫子、山本良子、西浦幸子、中本達三、中本幸子、荒井ひろみ、宮西敏子、小田切明美、神谷和子